

議 題 （ 3 ）

令和4年度 食育の取り組みについて

③関係団体の取り組み

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪市食生活改善推進員協議会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	大阪市が食育推進や健康づくりのリーダーを養成するために開催している「健康講座保健栄養コース」の修了者が、栄養及び食生活改善の実践活動をすすめ、広く地域の健康づくり、食育の推進に寄与することを目的に、昭和52年5月に設立し、令和4年度に45周年を迎えました。 会員数 2,856 名 (令和4年度現在)
取り組み内容	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応を講じて調理実習等の講習会を再開しました。地域での声かけやリーフレット配付等の個別活動による普及啓発も推進しました。 ①プレマクッキング・キッズクッキング・おやこの食育教室 子どもの頃から望ましい食習慣を身につけ、食の大切さや楽しく食事をすることの重要性を知ってもらうことを目的に、子どもや保護者、若い女性、妊婦の方を対象に実施。 大阪市たべやんレシピ「クックパッド公式キッチン」にメニューを掲載いただき、情報発信を行った。 ②生活習慣病予防講習会 健康寿命の延伸と生活習慣病予防を目的に、「朝ごはんを食べよう」をテーマとして、全世代を対象に講話や調理実習等の普及啓発活動を実施。 地域住民にライフステージに応じて、対象を若者(高校・大学生等)・働き・高齢世代に分けた取り組みを行い、若者世代へは地域の学校と協働で講習会や展示等を行った。 汁物の塩分濃度測定による減塩推進や、フレイル予防の食事についてクイズや講話を行い、地域の繋がりも深まった。 ③男性のための料理教室 高齢者の単身世帯が増加する中、男性を対象に「食生活に関する自立への支援」を目的に調理実習を中心とした講習会を実施。 ④エコクッキング 家庭での食品ロス削減に向けて、環境にやさしい食生活を推進することを目的に、大阪市環境局と協働で「エコクッキング」を実施。令和4年度は、会オリジナルの「えこレシピ集」を大阪市保健所と協働で作成し、普及啓発を行った。 ⑤「食育の日」の取組 6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」に、各区でキャンペーン等の普及啓発を実施。 ⑥食育に関係したイベント等 食育展等において献立等の展示、リーフレット配布、Web 参加等で普及啓発を行った。 ■今後の予定 令和5年度は「バランスよく食べよう」をテーマに、「子どものためのよい食習慣づくり」と「生活習慣病予防」を2大柱として、さらに高齢世代への低栄養・フレイル予防や減塩等、地域に密着した食育活動を幅広く推進していきます。
令和4年度実績	 

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人 大阪府医師会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	「医道の高揚、医学および医術の発達ならびに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進すること」を目的として、昭和 22 年に設立。 会員数は 17,184 名です。(令和 4 年 12 月 31 日現在)
取り組み内容 令和 4 年度 実績	■ 提供・協力している広報媒体を通じて、医療・健康に関する情報を発信しています。 (NHK ラジオ「季節の健康」、毎日放送ラジオ「ドクター M」、毎日新聞「ご近所のお医者さん」など) 【毎日新聞「ご近所のお医者さん」】 「肉食暴走老人 筋トレ・食事で長寿に」 (若草第一病院長 山中 英治) 《令和 4 年 4 月 19 日》  ■ 府民の健康向上を目指して、エイジレス健康講座等のイベントを開催しています。 【エイジレス健康講座】 「定期的に尿検査をしましょうー慢性腎臓病 (CKD) の早期発見と生活習慣病について」 (大阪府内科医会理事 竺原 俊光) 《令和 4 年 7 月 16 日》  ■ 地域住民に適切な医療を提供できるよう、会員医師や医療関係者を対象に研修会・講習会を開催しています。 ■ 学校医に向けて、児童の生活習慣病対策等の教育ツールを作成しています。 【教育ツール (PPT)】 「小児の肥満とメタボリックシンドローム」 (大阪府医師会学校医部会作成)  ■ 特定健診・特定保健指導を通じて、食生活の改善により生活習慣病の予防効果が期待できる方に対するサポート、医療関係者への情報提供を行っています。 ■ 地域の郡市区医師会では、地域における健康イベントを開催し、パネル展示などによる疾病予防や健康づくりの普及啓発に努めています。

(以 上)

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	公益社団法人 大阪府栄養士会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	保健、医療、福祉及び教育等の分野において、対人専門職人としての倫理と、科学的かつ高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通して、府民の公衆衛生の向上に寄与することを目的とする事業を行っています。会員は管理栄養士・栄養士です。会員数は、約 3,000 名です。
取り組み内容 令和4年度実績	■府民食生活講座「子ども料理教室」 テーマ：「野菜バリバリ朝食モリモリ」 対 象：大阪府内の小学3～6年生 開催日：令和5年1月22日(日) 会 場：摂津市立コミュニティプラザ 参加者：11名 「ケーキずしで楽しくランチ」 ・講 話 生活リズムを調べてみよう！（朝起きてから寝るまでの生活のパターンの振り返り） 3つのグループをそろえましょう！（赤黄緑の三色栄養の話） ・調理実習 ケーキずし、こまつなの和風スープ、雪だるまゼリー   以下は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせ、ホームページへのレシピ掲載のみ行いました。 ・「さあ集まろう 子どもシェフ！！」 ・「アイスクリームを作ろう」 ・「皮から手作り餃子ドッグ」 ■健活ワクワク EXPO in OSAKA（主催 大阪府・大阪府食育推進ネットワーク会議） 食育 SAT システムを使い、体験型の栄養診断ブースを出展。 300名を超える方々に食事についてアドバイスをしました。 開催日：令和4年10月8日(土) 会 場：阪急うめだ本店9階阪急うめだホール 

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人 大阪府歯科医師会
団体等の概要 (設立・会員 数・目的等)	大正15年設立。 会員数5,450名(令和4年3月末現在)。 本会は、医道の高揚及び学術研鑽を通じて、地域社会における歯科医療の促進と公衆衛生の普及啓発を図ることを目的とする。
取り組み内容 令和4年度 実績	■ ライフステージごとの「噛むこと」「味わうこと」の大切さを考えた場合に、高齢者の口腔機能保持も大きな要素となることから、8020 達成者を表彰し、生涯を通じた歯の健康づくりの大切さを啓発しました。 ■ 本会の中に在宅歯科医療連携室の相談窓口を設置し、居宅療養でお困りの市民の方々に対応しています。 ■ 大阪市生涯歯科保健推進事業の中で小児に対する「食べ方」の機能発達を促す取り組みを実施し、大阪市オーラルフレイルの普及啓発事業の中で高齢者に対する誤嚥防止等に関する取り組みを実施しています。

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	「大阪市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ること」を目的として、昭和 26 年 5 月に設立。
取り組み内容 令和 4 年度実績	大阪市社会福祉協議会や各区社会福祉協議会が関与している食育関連事業は以下のとおり。 1 地域こども支援ネットワーク事業(市社協) 市社協では、子ども食堂等、地域で子どもの居場所活動を行っている団体をネットワーク化し、企業等支援者からの物資提供の受入れなど、子どもの居場所活動の運営を支援する「地域こども支援ネットワーク事業」を実施している。 子ども食堂の活動は、子どもたちに貴重な居場所を提供するだけでなく、家庭の事情で孤食、欠食となりがちな子どもたちへの食育(共食)にも役立つ活動となっている。 ● 令和 5 年 1 月末時点の登録団体数:275団体、334箇所 ● 主な取組み ・地域こども支援団体連絡会の開催 子ども支援に関わる団体の協働・連携を図るため2ヶ月に1回開催。 ・企業等支援者からの物資提供の受入れ 物資提供95件の申し出があり、延べ661団体に提供(※令和5年1月31日時点) ・子ども支援の向上に向けた広報・啓発 令和5年1月29日に、ヤングケアラーに関するシンポジウムを開催 ・企業の協力による食育イベントの開催 西区にあるイタリアンレストラン『Trattoria Pappa』による調理・盛り付け体験を5月8日に実施。 「普段はできない経験を子どもたちにしてもらいたい」との想いから、同区内で子ども食堂などのこどもの居場所活動に参加している小学生(33名)が参加。 プロが料理を作る様子や食材を活かした調理等を間近で見ることのできる貴重な体験となった。  2 高齢者食事サービスの支援(区社協) 市内には地域福祉活動の一環として高齢者食事サービスを実施している地域が多くあり、区社協では、活動継続等の支援を行ってきている。 高齢者食事サービスの活動は、高齢者の交流機会の提供や見守りにとどまらず、孤食・偏食になりがちな高齢者の食育にも役立っている。また、区役所や地域包括支援センター等と連携し、参加した高齢者に対し食生活を含め健康講座や健康チェックを行ったりもしている。この間は、コロナ禍により活動を中止・休止する地域が増えたため、各地域と連携し、会食から配食、テイクアウトへの切り替えなど、一部事業内容を変更して実施してもらえよう、また、活動を再開してもらえよう支援を行っているところである。 ● 令和 4 年 12 月現在の状況(市社協調べ) - 高齢者食事サービス実施箇所 :351(100.0%) - うち、通常通り活動(会食) : 99(28.2%) - 一部変更して活動 :206(58.7%)

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪市PTA協議会
団体等の概要 （設立・会員 数・目的等）	昭和 25 年 11 月 24 日 設立 会員数 171,677 人 各区PTA協議会並びに関係諸機関・団体のとの連絡調整、協議をとおして、単位 PTA の健全な発展と児童生の健全育成を図るための組織
	こども食堂とは、ただ単に「食事を満足に食べられない子どもたちに食事を提供する」だけではありません。 こども食堂や学習支援の場などの「こどもの居場所」は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む重要な場です。こども食堂も食育の一環であると思っています。 PTAの中でも、こども食堂を積極的にされている方が大勢います。共働きの家庭も多く、いろんな家庭環境がある中で、子どもも大人も安心して暮らせるような居場所作りでもあります。 それでは、阿倍野区と東淀川区の活動をご紹介します。 阿倍野区 こども食堂をはじめたきっかけは、満足に食事が取れない子どもたちのためでした。しかし、現在は親の帰りが遅い、または親の帰宅後も忙しいなどの理由で孤食が増えていると聞き、子どもたちにとって、食事中にもコミュニケーションを取ることが大切だと思い、共食を目的としてはじめた。 場所は、文化会館で毎週火曜日に 16 時頃から 21 時までかっている。 食事時間は 17 時半からで、小学生はそれまで一緒に宿題をしたり、公園で遊んだりして過ごし 11 時半から 21 時は中高生が勉強をしたり居場所となっている。 いろんな家庭環境がある中で、子どもも大人も安心して暮らせるような「居場所作り」をしている。 人数は 25 名ほどで、ある日は人数分のハンバーグを家で作って会館に持って行くなどたくさんの人々が集まる場所であることから、アットホームな雰囲気の中で食事を取ること、その時間を楽しみながら過ごすことができる。 東淀川区 朝食を食べてこない小学生が多くいることを知り、どんな状況の子どもでも朝ごはんをしっかりと食べさせて学校へ送り出してやりたい。十分に豊かな食生活をおくる保証ができることが、子どもにとって大事であると、こども食堂をはじめた。 こども食堂をはじめるとは会場費などがかかるが、当時の校長先生より家庭科室をご提供いただき朝食を食べてから教室へ送り出すことができています。1 食 50 円 7 時半から行っている。 最初は経済的に苦しい子どもを対象、現在は誰でも利用可能にした。 フードバンクからチマキなど寄付をいただくこともある。スープの時、キャベツの芯も細かく切るなど工夫をして、子どもたちが完食。家庭でも苦手な物も食べられるようになったと聞く。小学校の時に朝ごはんがあったな、あそこでみんなで食べて楽しかったなど思い出にしてほしい。楽しく朝ごはんを食べて一日を始めてほしいと願っている。 こども食堂を通して栄養価の高い食事を摂ってもらうことはもちろん、共食することで子どもたちは、クラスや学年を超えたコミュニケーションを楽しめたり、親同士も子育ての相談ができるコミュニティも生まれます。今後は、地域の方々と共に、だれも取りこぼさない社会をつくることを目標に、食育の大切さを学び、行動に移していきたいと思っています。

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人大阪府薬剤師会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	本会は、日本薬剤師会・都道府県薬剤師会並びに大阪府内に所在する地域及び職域薬剤師会との連携のもと、薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学及び薬業の進歩発展を図ることにより、大阪府民の健康な生活の確保・向上に寄与する ＊設 立:明治 23 年 1 月 11 日 ＊会員数: 7,849 名(2023 年 1 月末現在)
取り組み内容 令和4年度実績	①薬と健康の週間「府民のつどい」 目的:医薬品や薬剤師等専門家の役割に関する正しい知識を広く府民に浸透させることにより、府民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的とする。 新型コロナウイルス感染蔓延以前は、なんばクジラパーク等で、薬や食に関する情報提供。 令和 4 年度は、薬局や行政において、クイズの用紙を配布し回答することで、学ぶ形式とした。  ②「府民健康フォーラム」 主 催:大阪府薬剤師会・大阪府臨床検査技師会・大阪府栄養士会 後 援:大阪府、大阪市、堺市、東大阪市、高槻市、豊中市、枚方市、八尾市、寝屋川市 対 象:大阪府民 ハイブリッド形式、オンデマンド配信 内 容:令和 4 年は、感染症への対応について、専門医の基調講演の後、各団体からの講演 

③ATCにおける研修会

大阪府医師会、大阪府歯科医師会と順番に健康セミナーを担当

④健康サポート薬局の研修(新規・継続)

症例検討のグループディスカッションでは、食事の知識についても確認

⑤薬学生実務実習の動画(「OTC医薬品、セルフメディケーションでは、「バランスのとれた食事」について言及

⑥健康セミナーにおいて、エビデンスのある健康食品と日常の食事のバランス(五行説に基づく五味五色五性の考え方)やタンパク質摂取の重要性等、漢方の養生も含めた教育

⑦地域薬剤師会ごとに健康展・健康まつりを開催し、薬の適正使用とともに食生活改善についてセミナー開催

⑧大阪府登録販売者生涯研修会において、「漢方製剤」のテーマの中で、食事のバランスにも言及

